

令和7年 千葉市議会第4回定例会



都市建設委員会・長野市視察

令和7年11月25日(火)より、今年最後の議会となる「令和7年第4回千葉市議会定例会」が、千葉市議会議場において午後1時より開会いたしました。

初日は、諸般の報告後、会期の決定、議案第149号から第199号の上程及び市長による提案理由説明があり、続いて請願第3号委員会付託が行われ、本会議は散会となりました。本会議散会後は各会派に分かれての議案研究が行われました。

11月28日(金)は午後1時開議となり、議案質疑が行われ常任委員会付託となり、12月1日(月)には5常任委員会に分かれての議案審査が行われました。

12月3日(水)・4日(木)は、交渉会派4会派による代表質問が行われました。続いて、12月5日(金)からは市政に関する一般質問が行われ、12月11日(木)までに33名が登壇いたしました。

最終日となる12月12日(金)は午後1時の開議となり、議案第149号から第199号及び請願第3号に対する委員長報告・討論の後、採決が行われ、提出された当初議案はすべて可決、請願第3号は不採択となりました。

その後、国の経済対策の決定に伴う補正予算及び人事案件である議案第200号から第202号の追加議案審議、議員発議である議案第8号審議、意見書である議案第9号から第11号の審議については、すべて委員会付託省略で採決されすべて可決となり、最後に市長からの発言があつて令和7年第4回定例会は閉会となりました。

令和8年第1回定例会は、12月12日(木)開催予定の市長主催の代表者会議、12月13日(金)開催予定の議会運営委員会を経て、令和8年2月18日(水)開会予定となっております。

元気発信！花見川！

【主な役職】

立憲民主党千葉県総支部連合会副幹事長／都市建設委員会委員長／大都市制度調査特別委員会委員／花見川区保護司
花見川中学校区青少年育成委員会顧問／花見川中・花見川小・花見川小学校評議員／千葉みなとリハビリテーション病院外部評議員

だんぎ和彦 市議会レポート

かず ひこ

「一般質問」について

今定例会においては、12月9日(火)午前10時開議の一番手として登壇し、一問一答方式(2回目から)で一般質問を行わせていただきました。

1. 経済活性化の取組について

(1) 市内企業の事業成長を促進する取組について

(2) ナイトタイムエコノミーの取組について

(3) メタバースによるひきこもり支援について

3. 災害時の医療体制について

以上が通告項目となりますが、主な要点についてご紹介させていただきます。

1. 経済活性化の取組について

(1) 市内企業の事業成長を促進する取組について

【質問】 どのような取り組みがあり、その取り組みを総括するような場はあるのか？

【答弁】 ともに今年度で6期目を迎える、アクセラレーションプログラム(CICAP)と新規事業創出支援プログラム

(CIBID)があり、事業の成果を発表するとともに、イノベーション機運醸成につなげる場として「イノベーション交流会」を毎年開催している。

【要望】 今後も市内企業の事業成長促進に向けてさらに取り組んでいただきたい。

(2) ナイトタイムエコノミーの取組について

【質問】 定着した感のあるナイトタイムエコノミーの新たな展開について伺う。

【答弁】 推進支援制度により、これまで延べ29件支援し店舗化したものや人気イベントになったものもあり、今年度も新規4件を支援している。今後も課題を克服しながら、夜間のにぎわい創出や回遊性による地域経済の活性化に努める。

【要望】 ナイトタイムコンテンツの充実により、インバウンドや来訪者の宿泊につながる

よう、取り組みを進めていただきたい。

2. メタバースによるひきこもり支援について

【質問】 メタバースによる支援を試行的に実施した目的及び今後の活用についての考え方について伺う。

【答弁】 これまでも、ひきこもり地域支援センターにおいて、相談支援、居場所活動、家族のつどい等の支援を行い、利用者が親しみやすく利用しやすいように、愛称を「ひなた」とした。メタバースによる支援「ようこそ！ひなバス」は、電話や対面が苦手な利用者の抵抗感を軽減し、気軽に相談できるきっかけづくりを目的としている。今後、より多くの方に知っていただけるよう周知・啓発を行うとともに、効果を検証し、支援の充実を図る。

【要望】 大変有効なアプローチと感するので、様々な主体との連携も視野に入れ、今後もしっかり組んでいただきたい。

【表面より続く】

3. 災害時の医療体制について

質問 近年、自然災害が頻発化・激甚化しているが、青葉病院・海浜病院では本市や近隣地域が被災した際には、どのような体制で臨むのか？

答弁 両病院とも地域災害拠点病院に指定されており、災害発生時には傷病者等を受け入れな

今定例会の議案について

今定例会において当初提出された議案は、予算議案6件(補正予算6件)、条例議案11件、一般議案34件で、そのほか請願1件及び陳情5件が提出されましたが、これらにつきましては、12月1日(月)に開催されました5つの常任委員会において審査が行われました。

補正予算議案の主な事業としては、こども・若者支援として入所児童数の増等に伴う民間保育園運営費のほか、「千葉市新日本建設・金綱一男こども若者育英基金」への積立金などを計上いたしました。また、指定管理者の指定に伴う経費のほか、学校施設の環境整備や公共工事の平準化に係る債務負担行為などを追加いたしました。

条例議案は、人事委員会の勧告に基づき一般職の職員の給与改定を行うとともに、特別職の

がら地域の医療活動の拠点となる機能を備えている。また、他自治体での大規模災害が発生した際にはDMATを派遣する。事業継続計画では、ライフラインの被害を想定した自家発電装置の燃料、食料や飲料水等の確保など対策を講じている。また、災害医療コーデイナーや災害時小児周産

職員が期末手当を引き上げるほか、所要の改定を行う「千葉市職員の給与に関する条例等の一部改正について」や、水道料金の額を改定するほか、所要の改定を行う「千葉市水道給水条例の一部改正について」など、11件すべてが一部改正となりました。

一般議案は34件で、内各地域のコミュニティセンターやいきいきプラザ・センター、公民館やスポーツ広場、そのほかマリスタジアム、ポートアリーナ、ポートタワーなどの市有施設の指定管理者の指定についての議案が28件であり、インフレスライド条項の適用による議決事件の一部変更が4件などとなっております。

議案審査につきましては、前述の常任委員会において審査され、最終日の12月12日(金)午後1時より開議の、各委員長報告・討論の後、採決が行われ、議案

期リエゾンとも連携する。【要望】 両病院とも災害に備え体制を整えていると感じたが、災害時には大きな混乱がある中で地域災害拠点病院としての対応が求められる。災害の種類や強弱、季節等条件の違いなどもあるので、様々な条件下での対応可能な体制の整備をお願いする。

第149号から第199号はすべて可決、請願第3号は不採択となりました。

最終日に上程された、国の経済対策の決定に伴い、物価高対応子育て応援手当の支給に係る経費を計上した補正予算議案第200号、人権擁護委員に関する人事案件の追加議案第201号及び第202号については、委員会付託省略で採決されず可決、議員提出の議案第8号(議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正)、意見書である議案第9号から11号とも、委員会付託省略で採決されず可決されました。

また議案に関わることで、「水道料金の改定について」及び「千葉マリスタジアム再構築について」、今後の方向性が示されました。

議案審査につきましては、前述の常任委員会において審査され、最終日の12月12日(金)午後1時より開議の、各委員長報告・討論の後、採決が行われ、議案

地域公共交通について

議会レポート第56号に記載させていただきましたが、令和7年第2回定例会において都市建設委員長を仰せつかり、今年度の所管事務調査もテーマを「地域公共交通について」といたしました。

コロナ禍以降、運転手不足等によりバス路線の廃止・減便が進み、市民の移動手段に影響が出るなど、公共交通を取り巻く社会状況に大きな変化生じていること、本市において、交通政策課に「バス担当課長」及び「バス対策班」が新設されるとともに、「千葉地域公共交通計画」が計画期間の最終年度を迎えることもあり、市民の足を守るべく、持続可能な交通の維持・再構築やライドシェア等を含む交通政策の調査・研究を行うこと



永平寺町・自動運転バス



ニューグリーンスローモビリティ前で

といたしました。調査といたしまして、本市の公共交通に係る所管課を招いて、現状についての調査・意見交換・分析、交通政策における先進市への視察、11月には市内バス事業者をお招きしての意見交換を行いました。今後は委員間討議等を行いながら報告書の取りまとめを進めて行く予定ですが、11月21日(金)には交通政策課とともにこはし台自治会館に伺い、会長・副会長と意見交換を行い、地域ならではの交通事情についてお聞きすることができました。こちらにつきましては、ご要望があれば自治会館等へ伺いますのでぜひお声がけいただけます。どうぞよろしくお願いたします！